

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	障害児保育				
担当者氏名	岩佐 昌英				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

「障がい」とは何か、「障がい児保育」とは何か、について、その理念や歴史、制度と課題を学習する。様々な障がいの原因や特性を理解し、障がい児一人一人の教育的ニーズに対する支援について、実践的に学習する。グループワークでの討議や発表や障がい児保育への関心・意欲を大事にする。障がい児保育に関する学術論文や時事的話題を通じて、自ら考え調べる(研究する)初歩的な姿勢を養う。

《授業の到達目標》

障がい児保育の理念や歴史、障がい児・者を取り巻く社会的事象に関心をもち、諸問題に対して自分の考えをもつ。様々な障がいの原因や特性を理解し、障がい児一人一人の基本的な発達課題を把握する。障がい児保育における具体的、実践的な発達支援の方法を理解する。

《成績評価の方法》

提出物(「テキスト(シート)」「振り返り(シート)」「ミニレポート」): 20%、授業への関心・意欲: 20%、討議への参加・発表: 20%、試験: 40%

《テキスト》

なし。(毎時、「テキスト(シート)」「振り返り(シート)」「論文・時事的話題」等を配付する)

《参考図書》

随時、連絡または配付する。

《授業時間外学習》

授業で配付した「テキスト(シート)」に授業内容を整理し、後日提出する。授業後、「振り返り(シート)」を持ち帰り、その日の授業内容を振り返り(まとめ)、次回提出する。ミニレポートを提出する(複数回)。

《備考》

毎時配付するシートは、提出(成績評価の対象)。その中の「メモ・質問欄」への記入は、成績評価(授業への関心・意欲)の対象。欠席者は、配付物を受け取り指示を受ける。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーションと『障がい』について	シラバスの説明(授業の概要、授業の到達目標、履修上の連絡や注意等)と『障がい』の表記等について考える。
2	障がいの受容と障がい児の保護者の理解、支援	「障がいを受容すること」をもとに、障がい児や障がい児の保護者の理解、支援を考える。
3	障がい児保育の理念と歴史	特別支援保育の理念や歴史、制度とその課題を考える。
4	障がいの理解 視覚障がい	視覚の障がいの原因や定義、特性、支援について考える。
5	障がいの理解 聴覚障がい	聴覚の障がいの原因や定義、特性、支援について考える。
6	障がいの理解 知的障がい	知的障がいの原因や定義、特性、支援について考える。
7	障がいの理解 自閉症スペクトラム障がい	自閉症スペクトラム障がいの原因や定義、特性、支援について考える。
8	障がいの理解 注意欠如・多動性障がい	注意欠如・多動性障がいの原因や定義、特性、支援について考える。
9	障がいの理解 学習障がい	学習障がいの原因や定義、特性、支援について考える。
10	障がいの理解 運動障がい(肢体不自由)	運動障がいの原因や定義、特性、支援について考える。
11	障がいの理解 病弱・身体虚弱 言語障がい	病弱・身体虚弱や言語障がいの定義や特性、支援について考える。
12	障がいの理解 重度重複障がい	重度重複障がいの原因や特性、支援について考える。
13	障がいの理解 二次障がい	様々な二次障がいの原因と対応、支援について考える。
14	学術論文及び時事的話題について	障がい児保育に関する論文や時事的話題をまとめ、自分の考えを発表する。
15	まとめ・振り返り	今までに作成した資料を基にしながら、学習したことを振り返る。